

高  
3

## 大学入学共通テスト終了

1月18日(土)、19日(日)の2日間、長崎大学文教キャンパスにおいて、本校の77回生が大学入学共通テストを受験しました。生徒たちは朝の出席確認や休み時間には東高の仲間や先生方と談笑して緊張をほぐし、試験会場に向かう姿が見られました。2日間とも晴天に恵まれ、大きなトラブルもなく全ての日程を無事に終えることができました。新課程入試の初年度であり、2日間ともに朝から18時過ぎまでの長い日程を乗り越えることができたのは、お子さまたちの日頃からの努力はもちろん、それを日々サポートしていただいた保護者等の皆さまのご指導・ご協力のおかげです。誠にありがとうございます。

これからいよいよ私立大学入試に始まり国公立大学2次試験と続きますが、健康に気をつけて自分の持てる力を十分に発揮してもらいたいと思います。引き続きご家庭でのサポートをよろしくお願い致します。



高  
2

## 「性についての学習会」

1月15日(水)の7校時、2年生を対象に「性についての学習会」を実施しました。日本思春期学会性教育認定講師の中山安彩美先生をお招きし「思春期ってどんな時期?」「人付き合いで知って欲しいスキル」「二次性徴について」「性の悩みについて」という内容でお話いただきました。

生徒にとっては、新しい気づきや学びの多い講話となったようです。特に「人付き合いで知って欲しいスキル」については、「それでいいんだ」「無理しなくていいんだ」「このままでいいんだ」等の感想が多くあり、「自分を肯定し大切にしよう」と思える良い機会になったと思います。



高1  
高2

## WWL 中間発表会

1月23日(木)に高1、1月24日(金)に高2が、『WWL 探究中間発表会』を開催しました。高1・2年合わせて約140チームが、それぞれ設定した各課題について、その解決を図る探究成果を発表しました。

限られた準備期間の中でも、仲間とともにフィールドワークや実証実験などを行い、そこで得た学びをもとに、これまでの成果と今後の展望について発表しました。発表会までの準備期間も含め、全員が成長する大きな機会となりました。

3月21日(金)にWWL探究発表会が実施されます。今回の中間発表会で、審査員や仲間たちからたくさんの感想やフィードバックを受け、見つかった改善点などを修正しながら、本発表に向けてさらにブラッシュアップしていきます。



中  
高

## ニューイヤーコンサート

1月5日(日)長崎ブリックホールにてニューイヤーコンサートを開催いたしました。今回は53名の卒業生が出演してくださり、総勢100名を超える大編成での演奏も行うことができました。新体制になって初めての大きなステージでしたが、おかげさまで盛会のうちに終えることができました。ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。今年も「音には生命がある」の合言葉のもと、感謝の気持ちを忘れずに充実した活動をしていきたいと思っております。



### 生徒指導部より 公共の場を支える人

終業式の大掃除の折、ある生徒が窓のレールを綺麗に磨いていました。人の目に触れにくい場所であっても、任された仕事を丁寧にこなす姿に感心しました。公共の場を心地良く保ってくれるのは、彼らのような存在です。以前、高速道路の休憩所のトイレに入った時、清掃員の方が床に膝をつきながら便器周りを黙々と拭き上げていました。仕事を妨げたお詫びと、お礼を告げると、その方は「これが私の仕事だし、せっかくなら綺麗な場所で気持ちよく使ってほしいしね」と笑っておっしゃいました。排泄物が散乱した床を歩き、汚れた便器を利用したいと思う人はいないでしょうが、トイレがそのような状態でないのは、清掃員さんのように公共の空間が破綻しないように力を尽くしてくれる人がいるからです。自分のことに一生懸命な自分が、周りのために何ができているのかを、深く考えさせられました。年明けの始業式の日、ふとこのことを思い出しながら掃除をしていると、生徒達が「先生、自分がします」といって積極的に掃除をしてくれました。誰かのために行動できる東の生徒の姿に、再度胸が温くなりました。

# 大会等の結果

## 〈高校〉

### ◆2024年度第9回九州高等学校

#### ライフル射撃競技新人大会

男子総合 優勝

女子総合 3位

AR男子団体 2位

AR女子団体 3位

BR女子団体 3位

BP男子団体 2位

AR女子個人 1位 2年7組 釜我 鈴乃

AR男子個人 4位 2年2組 執行 暁生

5位 2年6組 古山 晃一

BR男子個人 4位 2年1組 林田 渉

AR男女ミックス

1位 2年2組 執行 暁生 / 2年7組 釜我 鈴乃

BP男女ミックス

3位 2年6組 江崎 佑弥 / 1年3組 川良 南夏

### ◆令和6年度長崎県高等学校新人体育大会

#### バスケットボール競技

男子の部 3位

### ◆令和6年度長崎県高等学校柔道選手権大会

男子個人無差別級 3位 2年1組 松嶋 優和

女子個人無差別級 3位 2年1組 中村 志歩

### ◆令和6年度全国高等学校選抜剣道大会

女子団体の部 2位

### ◆第51回長崎県アンサンブルコンテスト

クラリネット六重奏 金賞・県代表

### ◆第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会

#### 吹奏楽部門

九州高等学校文化連盟賞

グッドパフォーマンス賞

### ◆JBA九州ソロコンテスト予選 第13回JBA

#### 長崎県ソロコンテスト

金賞 2年1組 堀内 咲芭

### ◆「私の折々のことばコンテスト2024」高校部門

朝日中高生新聞賞 2年7組 安達 和心

佳作 2年6組 多良 優羽

### ◆第10回高校生英語プレゼンテーションコンテスト

5位 1年1組 井手 清馬

### ◆第70回青少年読書感想文長崎県コンクール

課題図書部 優良賞 2年3組 藏本 小夏

自由図書部 優秀賞 2年7組 安田 優花

### ◆第44回全国高校生読書体験記コンクール

入選 2年7組 上戸 龍之介

### ◆「未来創造スタートアップチャレンジ推進事業」

#### 『高校生アントレプレナーシップゼミ2024

#### Winter』

優秀賞（株式会社十八親和銀行賞）

2年6組 中村 峰康

### ◆第十回全国ユース環境活動発表大会九州・沖縄

#### 地方大会

審査委員特別賞 2年6組 菅田 晃成

2年6組 鶴田 楓

2年6組 富田 大夢

2年6組 中村 峰康

## 〈中学〉

### ◆第51回長崎県アンサンブルコンテスト

クラリネット三重奏 金賞

### ◆第2回煌めくながさき音楽コンクール

ソロBコース中学生部門

煌めき賞 3年3組 秀島 鳴

### ◆JBA九州ソロコンテスト予選 第13回JBA

#### 長崎県ソロコンテスト

金賞・県代表 3年3組 秀島 鳴

### ◆第25回創造アイデアロボットコンテスト九州

#### 地区中学生大会

九州オリジナル部門

3位 2年3組 山道 康太郎

### ◆長崎市バドミントン冬季選手権大会

ダブルス 3位 2年1組 小川 煌陽

2年2組 古井 陽晟

## 主な行事 2月

1日(土)	対外模試(高3 ~2/2) 進研マーク模試 (高2 ~2/2) 学校開放(高3)
3日(月)	考査時間割発表 強歩大会予備日
5日(水)	全校朝会・受納式 考査時間割発表(中)
6日(木)	ひがしチャレンジデー
8日(土)	学校開放(高3)
10日(月)	第4回考査 (高1・2 ~2/14)
13日(木)	第4回考査(中 ~2/14)
15日(土)	学校開放(高3) 新入生オリエンテーション (中)
17日(月)	大掃除・検査場設営
18日(火)	高校入試(~2/19) 生徒自宅学習(~2/20)
21日(金)	長崎東安全の日 スクールバス乗務員への花束 贈呈式
25日(火)	振替休日(3/1分) 国公立大学前期日程試験 (~2/26)
26日(水)	性教育講演会(中)
28日(金)	会場設営 卒業式予行 各種式典

## 校長より

新年を迎えて

校長 立木 貴文

新年に入り冬らしい厳しい寒さが続いています。1月12日の中学入学者選抜当日はお昼前後にかなりの積雪があり、受検児童の安全を考えて県教委とも協議の上で一部検査を中止しました。長崎駅周辺はそれほどでもなかったと聞き、彼らの標高差を実感した日でもありました。選抜結果は既に送付し2月半ばには入学予定者オリエンテーションも予定しています。高校入試も今春から大きく日程・制度とも変更となり、1月下旬に特別選抜を実施し18名の合格内定者を決定しています。2月下旬には一般選抜もありますが、少しずつ長崎東の新たな仲間が誕生しつつあります。

1月半ばには、PTAの皆様からのご提案で、保護者と教員、中学・高校の代表生徒が一堂に会した座談会が行われました。テーマは「『長崎東のルール集』について」。中学生は“生徒大会で出た意見を基にしたルールの改善案”を、高校生は2年生に取ったアンケートから“あえて尖った意見”をピックアップして保護者や教員の意見を聞きたいと資料を準備してくれていました。

それぞれにアプローチは違いましたが、意見の背景にあることから順に説明してくれたり、考え方の長短についてきちんと触れたりするなど、その是非は別としても考えさせられる内容ばかりでした。保護者の方からも教員からも様々な意見が出された有意義な会だったと思います。

長崎東の生徒と接する中で、子どもたちとフラットな関係で対話することや、対等な関係で扱ってくれる場を提供することの重要性をしばしば感じます。学校教育の枠組の中での“指導する・される”の関係が存在することは前提としつつも、可能な限り多くの場面で彼らが自身の考えをフラットに表現できる機会を作ってあげたいものです。

座談会の様子はPTA広報紙にも掲載される予定とのことですし、次年度も開催していきたいとお声もいただきました。中学・高校の生徒と保護者の皆様、教職員が、協力して一つの学校を創っていく、そんな文化が根付いていけばと願っています。